

## 輝く地域に

副センター長 村川 修

グラントワは多くの人の力で支えられて生まれ、多くの人に利用されて昨年十二月には早くも入館者が百万人を突破し、これからの活動に多くの人の関心が注がれています。

益田という地域は中世の時代に石見地方の中心として栄えた歴史的に意義深い地域であり、この貴重な財産に新しい価値を加えて大切に磨くことよって魅力的な町として、県内外から多くの人が益田の地に訪れ交流が広まることを望まれます。これを實現するためにもグラントワが交流活動の中心の場として認められ、周辺地域や多くの文化団体などと連携した事業を進めて地域力を築きあげていくことが大切な使命だと考えています。それには地域全体を支える多くの

人の力が必要ですが、グラントワには既にその基盤が構築されています。

これだけ多くの応援団の皆さんに支えられていること自体が大変なことですが、さらにこの力が地域全体にその活動の影響を広げ発展していくことが望ましい姿だと思います。

これから地域全体で連携しながら進めていく事業として、今年のゴールデンウィークでの観光対策となるよう、「室町文化フェスティバル」を計画しています。これは美術館で行う「国立能楽堂コレクション展」を初めとして中世の歴史文化にちなんだ事業などを地域の皆さんと連携して実施しようとするものであり、観光客など県内外の多くの人に益田を訪れて楽しんでもらえるよう話し合いを進めています。

石見銀山遺跡の世界遺産登録を契機に、島根県に多くの人が訪れている今、この地域が力を発揮する絶好の機会です。この地域が連携した事業を發

展させていくためには、多くの人の協力が必要であり、特に応援団の皆さんの力添えが支えになります。

皆さんのお力をいただきながら、一緒になってこの夢を実現していきたくと願っています。



## ご支援に感謝

副館長 高橋和男

芸文センター「グラントワ」は、地域の皆様をはじめボランティア各位のご支援とご協力により、去る十二月十

三日に開館以来約二年二ヶ月で入館者百万人を達成することができました。百万人目の方は山口市からお越しの熟年のご夫婦でした。グラントワの複合施設ならではの特徴が、ホール事業や美術館の企画展等と良い形で連携できている結果といえましょう。三年目となる今年度は色々な面で正念場です。更なるご支援を宜しくお願い致します。現在、ホール友の会約二千五百人、ミュージアムバスポート会員約二千八百人と、開館一年目に比べ会員数が半減しています。会員になることの特典を周知することが、如何に大切か痛感し反省しています。

さて、開館以来館内でのソフト面で、花が絶えることがなく活けてあったり、季節感のある小品が飾られていて、来館者より「心が和みます」「癒されます」と、声をかけていただいています。未だに贈り主が判りませんが、高価な胡蝶蘭を開館以来定期的にお届けいただいている方がおられます。何れもグラントワを愛して下さる方々のご厚意です。今後とも事業やハード面での充実に努力いたしますので、ソフト面でのご支援とご協力宜しくお願いいたします。

## 神楽ボランテシアに 参加して

坂本 マリコ

私が、子供の頃秋祭りには神社で神楽が奉納され夜遅くまで神楽をみたものです。最近では、各地で郷土芸能として舞われている。

グラントワ小ホールで毎週日曜日、午後六時から七時三十分まで神楽が舞われるようになって神楽のボランテシアをするようになり、参加しています。神楽も六調子と八調子があり、石見神楽は殆んどが、テンポの早い八調子で舞われています。広島地方の、六調子神楽も独特の舞い方があり、面を付けずに化粧して舞う姿も歌舞伎を見ているかのようす。神楽のボランテシアを通して、お客様と顔なじみになり、お客様から「いつもお疲れ様」とか、毎週ご苦労様」とか声をかけて下さることもあり嬉しくなります。神楽好きで毎週来てくださるご夫妻の方、子供さん同士や家族連れ、小さな子供さんから年配の方まで幅広い層

で神楽は親しまれているのだなあと感じます。毎週来られるお客様で席も決められておられ、開演前になつて来られない時には、今日はどうされたのかと案じていると開演ぎりぎりになつて来られホットすることもあります。神楽の演目も三十数種あると聞いておりますが、子供に人気の大蛇の演目の時には、小さな子供さんが多く、それだけに、ボランテシアも目配りしています。

ボランテシアに参加した最初の頃はよく客席の方に注意をしに行ったり走り廻る子供さんを注意したりもしましたが、最近は開演前の場内放送のお陰で鑑賞のマナーも良くなつたと思えます。県外や外国から来られたお客様、旅行のツアーで来られ

たお客様は、それぞれに良かったです。感動しました。「すばらしいホールですね」とか、聞かれますので、何を聞かれても即答できるようにしたいと思います。毎月最終日曜日には神楽グッズプレゼントがあり演目終了後に大人も子供もジャンケンして最後まで残った人が幣や弓「ざい」や茅の輪などのグッズを手に笑顔で帰って行く人、惜しくもジャンケンで負けて泣きながら帰る子供さんも、おられて「残念だったねえ」と声をかけてあげます。

これからも神楽のボランテシアを通して、お客様とのふれあいを大切にして参加したいと思えます。

## グラントワ三年目にあたって

ボランテシアマネージャー

田根さつき

開館して一周年を迎えた時、つくづく一年たったんだと感じた。二年目、話し合つて取り組んでいたことがあったが、最後に仕上げた段階で自分に自分で“待った”をかけた。これはいずれきちんとしたものにするつもりです。

さて、三年目はすでに始まっています。先日、グラントワ応援団運営委員会のあ



り方について話し合いが行われました。開館して二年経過する中で、運営委員会そのものの意味を現況と今後で考えた時、組織編成も含めて一度整理する必要があります。三月上旬までには各ボランテシアグループ会議を開き、四月からは新しくした会でスタートしたいです。私も発言者の一人として、すぐには取り上げられることがなくても発想と視点を変える努力をしていこうと思つています。是非ボランテシアの皆さんの考えや思いを声にして聞かせて頂き、その橋渡しができるれば嬉しい限りです。



## 今年の秋は「ご家族でどうぞ

### 「歌芝居「魔法の笛」」

歌劇「魔法の笛」と記すのが一般的ですが、この方が「オペラ」ってイメージより「オペラちゃん」てな感じで楽しそうですよね。少々早いのですが、グラントワのオペラ第四弾として十月四日（土）にプラハ室内歌劇場公演が決まりました。

「魔法の笛」はモーツァルト最後のオペラとして世界中で愛されている人気作品です。演出にもよりますが、大蛇や動物たちも登場するおとぎ話のような冒険ファンタジーは、大人、中・高生は無論、お子様にも楽しんでいただけます。

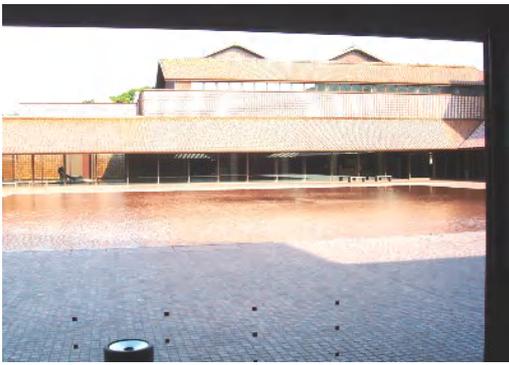
ドラえもんの秘密道具のような超能力アイテムである魔法の笛や銀の鈴が随所に使われて大活躍するのですが、愉快かつ不思議なのはドラマ進行の途中で悲劇の女王が悪の権化に変わり、暴君が徳の高い聖者へと変わる、正にコペルニクスの転回があることです。ストーリーを追っていくと、このような謎や奇想天外な部分結構あって、ネタに事欠きません。そんな謎解きは謎解きとして「魔法の笛」に永遠の命を与えているのは、なんといい

てもモーツァルトの音楽です。ラブ・ソングあり、厳粛なアリアにユーモラスな歌の数々。全曲を通して信じられないくらい美しくも哀しく、そして楽しく親しみやすいメロディーが続きます。

この秋は質感高いグラントワ大ホールを埋め尽くした観客席と舞台とが一体となった、夢とロマン、愛と感動の「魔法のワールド」を思う存分楽しめたらと、今からとても楽しみにしています。

（ボランティアマネージャー）

（大庭 明博）



### クリーンアップ 館外回り

昨年末の十二月二十一日（金）に建物の外回り、庭や法面、側溝の大掃除を実施した。クリーンアップボランティア会員や館職員、ボランティア会員の方が参加し、落ち葉拾いが主となりましたが、皆さんの協力で周辺景観がクリーンアップでき新年を迎えることができました。

皆さんありがとうございました。



### 「益田川も……グラントワ応援団」

グラントワ前の土手に上がれば、写真（合成）のような文字が見えました。三つ葉のクローバーで「グラントワ」とかたどっていました。昨年の秋の風景。（飯塚哲也）



「グラントワ」提携店参加一覧

店舗名	所在地	店舗名	所在地
サウンド・パレット	乙吉町	津和野温泉「なごみの里」	津和野町鷲原
四季魚	あけぼの西町	そのはら珈琲店	有明町
カフェ イタリア マンジャパレ	高津七丁目	フーツバー「saku」	駅前町
大谷温泉「かじか荘」	大谷町	松月堂 マリード	本町
(有)アド写真店	有明町	菜のや	乙吉町
(株)丸田 ライフラボ益田	津田町	美容室マジック(LOHAS)	駅前町
花の店 エム フローラ	有明町	田吾作	赤城町
出雲そば 竹の家	駅前町	日本料理 亀地	駅前町
Café さんじえるまん	駅前町	フルーツとご進物 森谷	駅前町
荒磯温泉 荒磯館 (レストラン「いそ亭」)	西平原町	Jazz & kitchen café MARUHUKU	駅前町
レストラン「ポニイ」	有明町	ミュージアムショップ 「コン・アモール」	有明町
デジタルシアター益田中央	あけぼの東町	ブティック PASTEL	駅前町
中華料理 千休	遠田町	串焼 ごんべえ	駅前町
焼肉食堂 うえだ	高津二丁目	益田スイミング・クラブ	あけぼの西町
せんりゅう・まんじゅう店	駅前町	御料理 まるでん	駅前町
紅屋あけぼの店	あけぼの本町	御食事処万福	駅前町
(有)益田みやび会	乙吉町	紅屋駅前店	駅前町
スポーツ・チキン・バー ALL-IN 野球	駅前町	シューズ&バック エビスヤ	常磐町
詩仙堂ギャラリー	駅前町	フジスポーツ益田店	駅前町
高島屋呉服店	昭和町	トータルフォホスタジオ イーセット	昭和町

○左記のように、現在グラントワ提携店があります。

「ミュージアムパスポート会員」・「グラントワホール友の会会員」の会員カードをお持ちの方に、各店(店の詳細情報は紙面の都合で省略。)それぞれに優待サービスがあり、サービス品や割引など用意しています。皆様のご利用、ご来店をお待ちしています。

○左記、提携店をご利用された会員の皆様には、その時の感想などお持ちでしたら広報紙に記事をお寄せください。



ボランティア会員研修旅行  
「奥田玄宋、小由女美術館」

○日時

平成20年2月24日(日)

午前7時45分集合

○集合場所

益田市民学習センター前

○乗り物

観光バス

○負担金 一人 3000円

○定員 45名

○日程

出発 市民センター前 7時45分

研修 ボランティア会員との交流会

昼食 三次ワイナリー

体験活動 農園でのりんご狩り等

帰着 市民センター前 18時00分

今年度のグラントワボランティア会員研修会は、広島県三次市の「奥田玄宋・小由女美術館」で市民ボランティアの方々と交流し研修することとなりました。

あ と が き

今回は、久々に四ページでの構成となりました。この広報紙は、グラントワを利用される皆さんの通信ですので、グラントワで体験された出来事や感想、お気づきのことがありましたら記事をお寄せ下さい。(情報ボランティア)